

2015/10/16

## 柏の景気情報（平成27年9月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 経営支援課  
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18  
TEL : 04-7162-3305  
FAX : 04-7162-3323  
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>  
E-mail : [info@kashiwa-cci.or.jp](mailto:info@kashiwa-cci.or.jp)

【平成27年9月の調査結果のポイント】

◀業況DIは一進一退。先行きも依然として慎重な見方が続く▶

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.2(前月水準▲23.1)となり、マイナス幅が2.9ポイント縮小した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲21.7(同▲35.0)、製造業▲5.5(同▲11.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲35.7(同▲32.1)、サービス業▲6.6(同▲6.2)である。

【建設業】からは、「雨の日が多く、外回りの仕事も捗りません。そのため、工期が延び売上も低迷」(一般土木建築工事業)、「雨の影響で工程がずれ、9月決算も重なり、段取りが大変な忙しい月となった。しかし、施工出来る日が少なく売上は減少となった。原材料がやっと上げ止まりとなったものの、受注競争が激化し、施工単価も下がり、厳しい状況となっている」(その他の職別工事業)、「孫の為にと祖父世代が畳工事をするケースが増えているので微笑ましいですが、工事の受注が年々減少しているのが気がかりです。年末に掛けて受注が増えることを期待しています」(内装工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「高齢化が依然として進み中、若年層の採用を考えているが、受注量の改善が見られないので、積極的な採用活動が出来ない状況である」(一般産業用機械・装置製造業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「衣料品は前半、天候不順及び近隣の豪雨影響もあり苦戦。特に紳士衣料の落ち込みが大きい。中旬以降、シルバーウィークは好調に推移し、気温の低下もあり、秋物の動きが活発になる。時計などの高額品は、前月に引き続き好調を維持」(百貨店)、「天候不順のため、客足が伸びず、9月はシルバーウィークもあり課題を残します」(時計・眼鏡・光学機械小売業)、「雨の日が多く、客足が減少した。逆にネット販売では売上が増加」(その他の各種商品小売業)、「今回のプレミアム商品券のイベントで、どの業種の売上が増減して、どの業種が良くなかったのか知りたい。食品小売業の立場であると、雨の影響もあるが、あまり売上に貢献したとは思えない」(各種食料品小売業)、「9月の大型連休が過ぎましたが、青果物は、消費予想と違って低迷しているとの情報。連休中の天候は良かったものの、消費意欲が停滞傾向にあったようです。また、主力産地では、気温低下の影響が続き、現在は、品質自体は良くなっているとの情報がありますが、一部商品では出荷減単価高で推移しています」(食料・飲料卸売業)、「小売・メーカーともに秋物はスルーする傾向がますます強く、下旬には納品商品は早くも冬物に変わった」(婦人・子供服小売業)、「暑さが長続きしなかった分、秋物に期待したが、様子見なのか全体では残暑ほどの数字にはならなかった。一時期の高品質・高価格から低価格へ戻りつつある」(その他の各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「海外の取引先、関係先を国内に呼び寄せる案件が増えてきている。社員人材育成プログラムや福利厚生プログラムへの興味関心を示す企業が増えている」(旅行業)、「お客様の買い物意欲は緩やかですが根強いです。金融が緩んでいるのでしょうか、仕入価額が徐々に上昇しています」(不動産管理業)、「今回、長期借入の償還期間が一部終了しました。また、今後1年以内に償還終了予定の借入があります。資金繰りに余裕が出たら、老朽化した設備の更新等に再投資予定です」(不動産賃貸・管理業)などのコメントが寄せられた。

◎天候不順

各業種より、「長雨の影響で工程が大きすぎてしまった。半期決算の影響で忙しかったが、10月は全く仕事が無い状況」(石工れんがタイルブロック工事業)、「長雨で客足伸びず。シルバーウィークで少し挽回した」(菓子・パン小売業)などのコメントが寄せられた。

◎仕入単価上昇

各業種より、「省エネ関連の工事が多い。仕入単価と共に、経費の上昇で利益は薄い」(電気工事業)、「9月上旬の天候不良により、前年よりも売上が減少。原材料の値上げが相次ぐ」(菓子・パン小売業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「設備投資が減少というニュースのわりには受注は堅調。波は少し遅れてくるのか。社内工場の人手不足と加工協力会社の工数オーバーは相変わらず」(その他の機械・同部品製造業)、「景況は不変状況が続いている。人員不足が続き、腰を据えた検討が出来ず、結果、目先の対応となってしまう、目的にブレが生じている」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
4月	▲16.8	▲13.0	▲5.5	▲44.4	△13.3
5月	▲24.3	▲26.0	▲11.1	▲50.0	±0.0
6月	▲24.7	▲26.0	▲11.1	▲39.2	▲12.5
7月	▲19.7	▲25.0	±0.0	▲42.8	△14.2
8月	▲23.1	▲35.0	▲11.1	▲32.1	▲6.2
9月	▲20.2	▲21.7	▲5.5	▲35.7	▲6.6
見通し	▲13.0	▲4.3	▲5.5	▲25.0	▲13.3

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

## 柏の景気情報（平成27年9月分）

○ 調査期間 : 平成27年9月18日 ~ 10月7日

○ 調査対象 : 柏市内156事業所及び組合にヒアリング

### ＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	84	53.8%
建設	44	23	52.3%
製造	33	18	54.5%
卸・小売	43	28	65.1%
サービス	36	15	41.7%

○ 調査方法 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。  
と調査表

### 質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

### 質問B 業界内のトピック(記述式)

--

$$DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合$$

#### ※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

#### ※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成27年9月の業況についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲20.2(前月水準▲23.1)となり、マイナス幅が2.9ポイント縮小した。

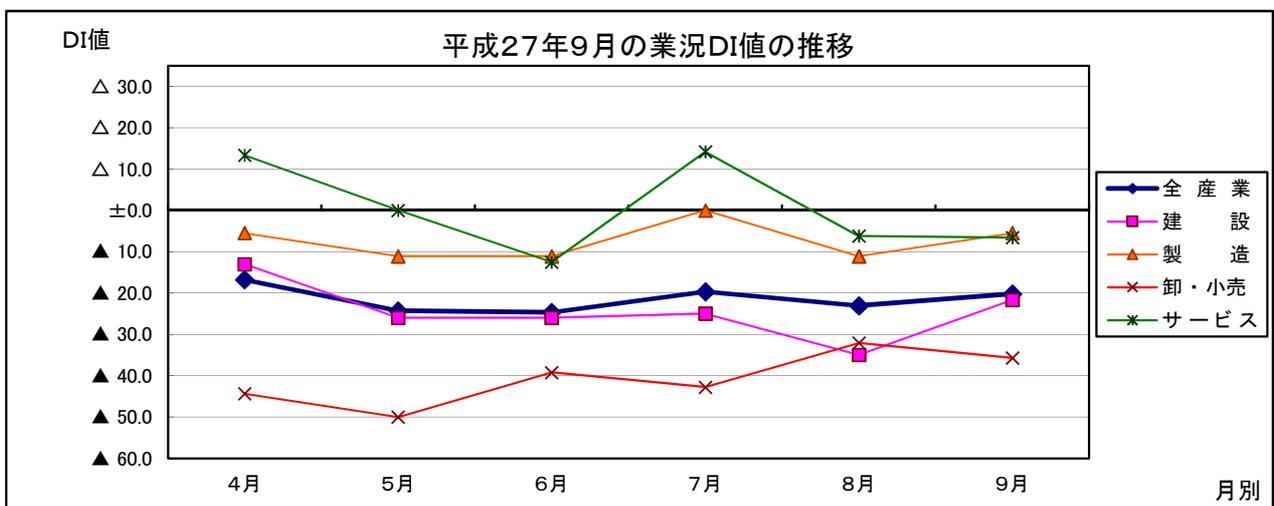
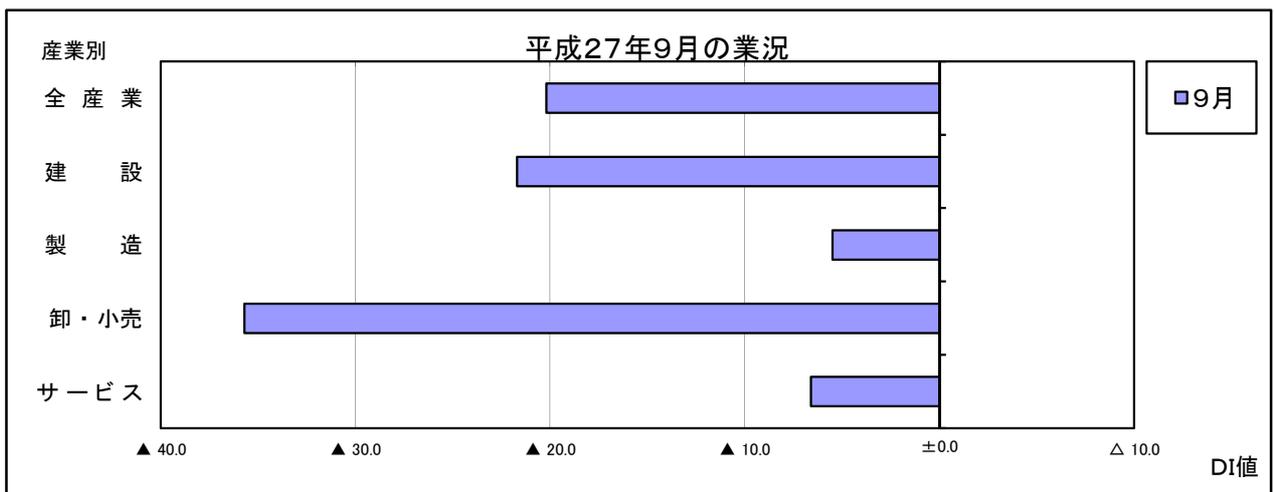
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲21.7(同▲35.0)、製造業▲5.5(同▲11.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲35.7(同▲32.1)、サービス業▲6.6(同▲6.2)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲13.0(前月水準▲19.5)となり、マイナス幅が6.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲4.3(同▲20.0)、卸小売業▲25.0(同▲32.1)、製造業▲5.5(同▲11.1)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲13.3(同▲6.2)である。

平成27年9月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	▲16.8	▲24.3	▲24.7	▲19.7	▲23.1	▲20.2	▲13.0(▲19.5)
建設	▲13.0	▲26.0	▲26.0	▲25.0	▲35.0	▲21.7	▲4.3(▲20.0)
製造	▲5.5	▲11.1	▲11.1	±0.0	▲11.1	▲5.5	▲5.5(▲11.1)
卸・小売	▲44.4	▲50.0	▲39.2	▲42.8	▲32.1	▲35.7	▲25.0(▲32.1)
サービス	△13.3	±0.0	▲12.5	△14.2	▲6.2	▲6.6	▲13.3(▲6.2)



【平成27年9月の売上についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲22.6(同▲17.0)であり、マイナス幅が5.6ポイント拡大した。

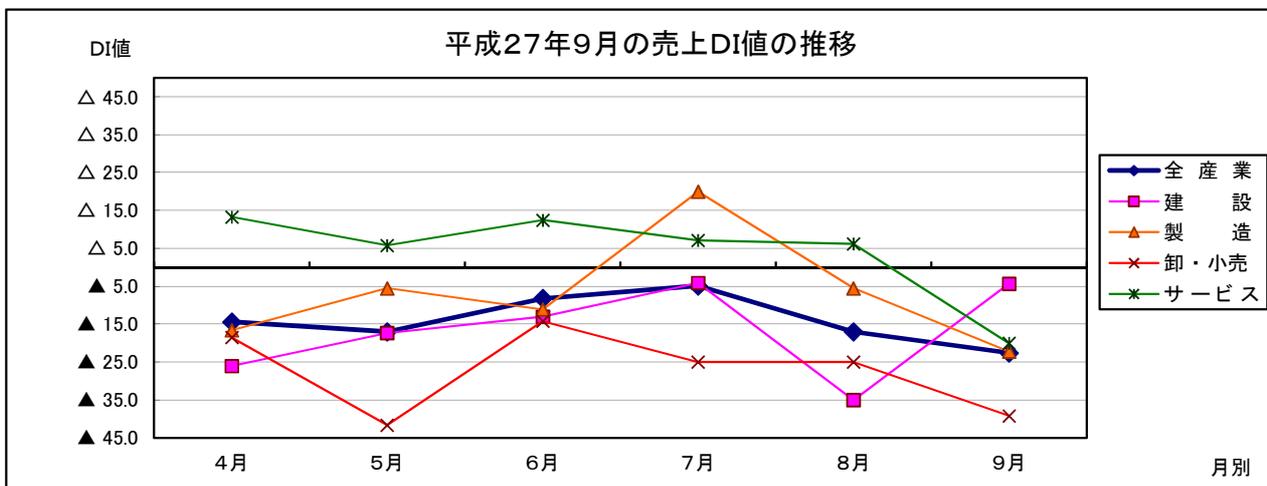
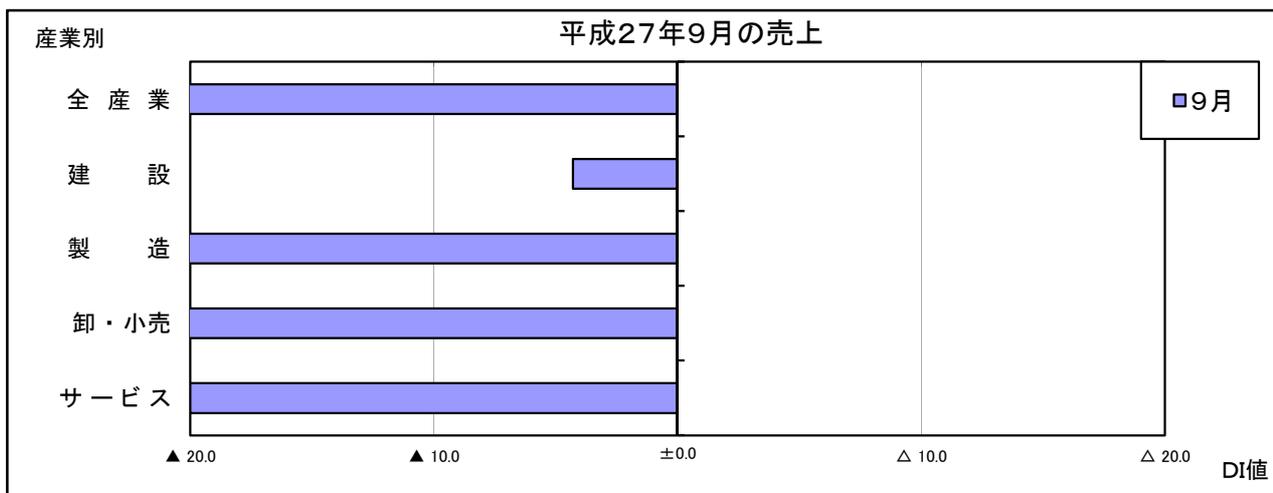
業種別では、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲4.3(同▲35.0)であり、30.7ポイントと大幅に縮小した。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲20.0(同△6.2)であり、26.2ポイントと大幅に悪化した。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲22.2(同▲5.5)、卸小売業▲39.2(同▲25.0)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.7(前月水準▲12.1)となり、マイナス幅が7.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、建設業△21.7(同▲10.0)であり、31.7ポイントと大幅に改善する見通しである。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲21.4(同▲39.2)である。変わらない見通しの業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、製造業▲16.6(同△16.6)であり、33.2ポイントと大幅に悪化する見通しである。

平成27年9月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	▲14.4	▲17.0	▲8.2	▲4.9	▲17.0	▲22.6	▲4.7(▲12.1)
建設	▲26.0	▲17.3	▲13.0	▲4.1	▲35.0	▲4.3	△21.7(▲10.0)
製造	▲16.6	▲5.5	▲11.1	△20.0	▲5.5	▲22.2	▲16.6(△16.6)
卸・小売	▲18.5	▲41.6	▲14.2	▲25.0	▲25.0	▲39.2	▲21.4(▲39.2)
サービス	△13.3	△5.8	△12.5	△7.1	△6.2	▲20.0	±0.0(±0.0)



【平成27年9月の採算についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲29.7(前月水準▲23.1)となり、マイナス幅が6.6ポイント拡大した。

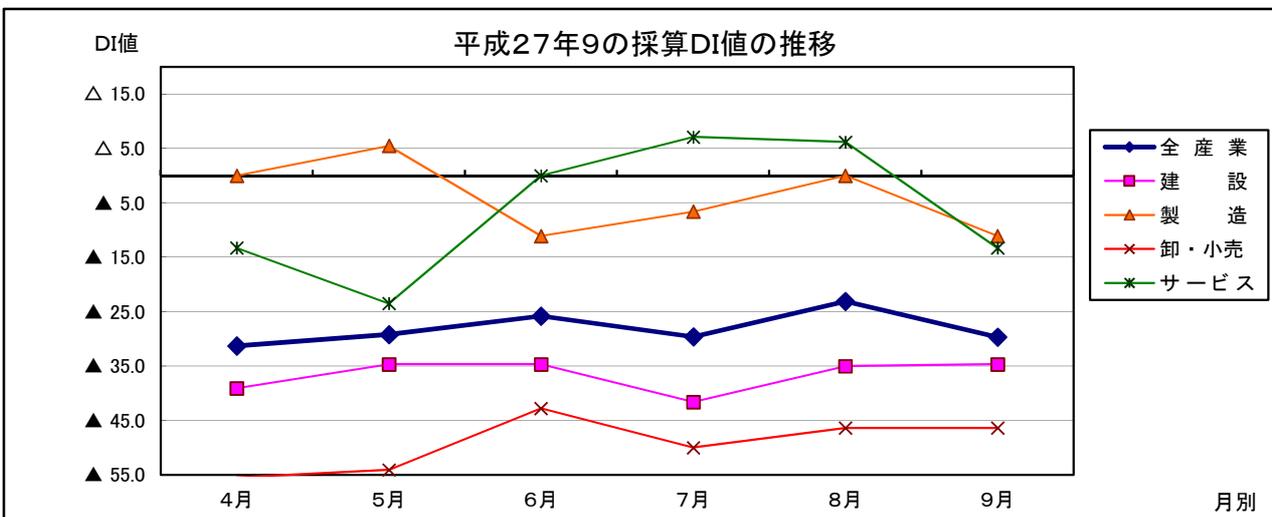
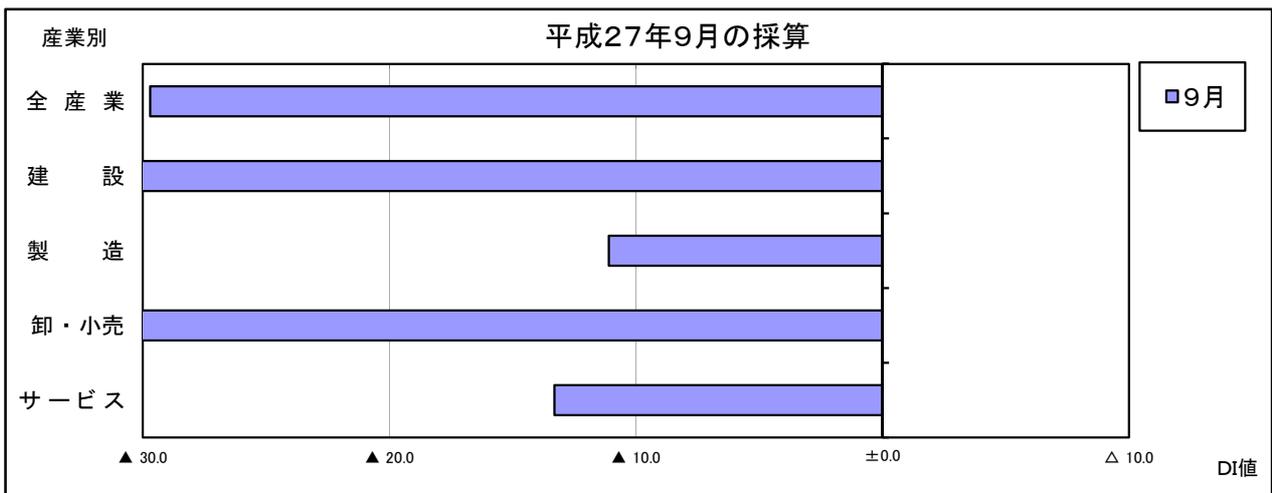
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲34.7(同▲35.0)である。変わらない業種は、卸小売業▲46.4(同▲46.4)である。プラスからマイナスに転じた業種は、幅の大きい順に、サービス業▲13.3(同△6.2)、製造業▲11.1(±0.0)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲17.8(前月水準▲24.3)であり、マイナス幅が6.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲13.0(同▲30.0)、卸小売業▲28.5(同▲42.8)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲16.6(同▲5.5)、サービス業▲6.6(同▲6.2)である。

平成27年9月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	▲31.3	▲29.2	▲25.8	▲29.6	▲23.1	▲29.7	▲17.8(▲24.3)
建設	▲39.1	▲34.7	▲34.7	▲41.6	▲35.0	▲34.7	▲13.0(▲30.0)
製造	±0.0	△5.5	▲11.1	▲6.6	±0.0	▲11.1	▲16.6(▲5.5)
卸・小売	▲55.5	▲54.1	▲42.8	▲50.0	▲46.4	▲46.4	▲28.5(▲42.8)
サービス	▲13.3	▲23.5	±0.0	△7.1	△6.2	▲13.3	▲6.6(▲6.2)



【平成27年9月の仕入単価についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲36.9(前月水準▲32.9)となり、マイナス幅が4.0ポイント拡大した。

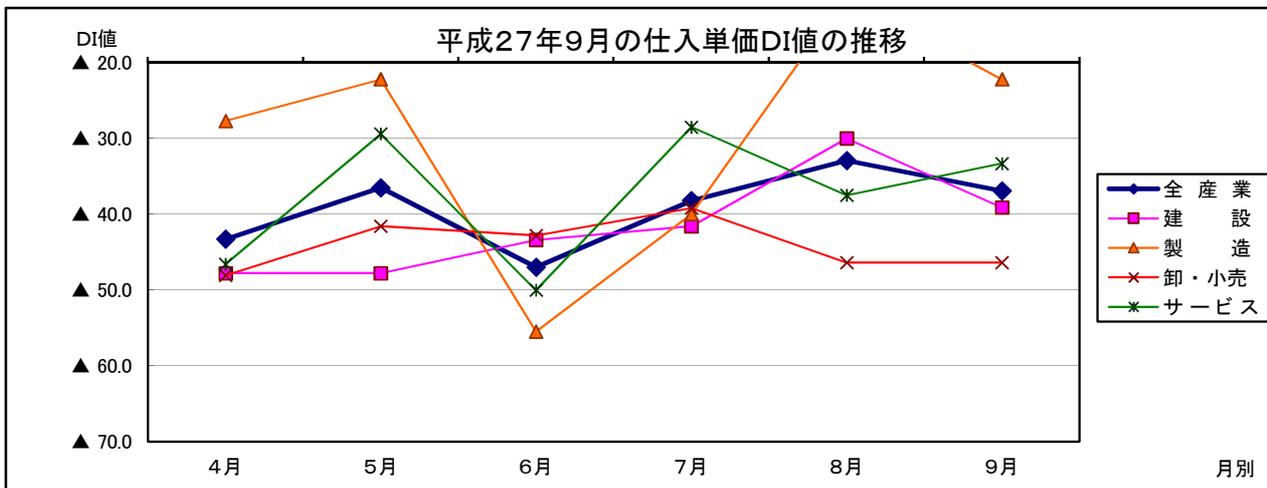
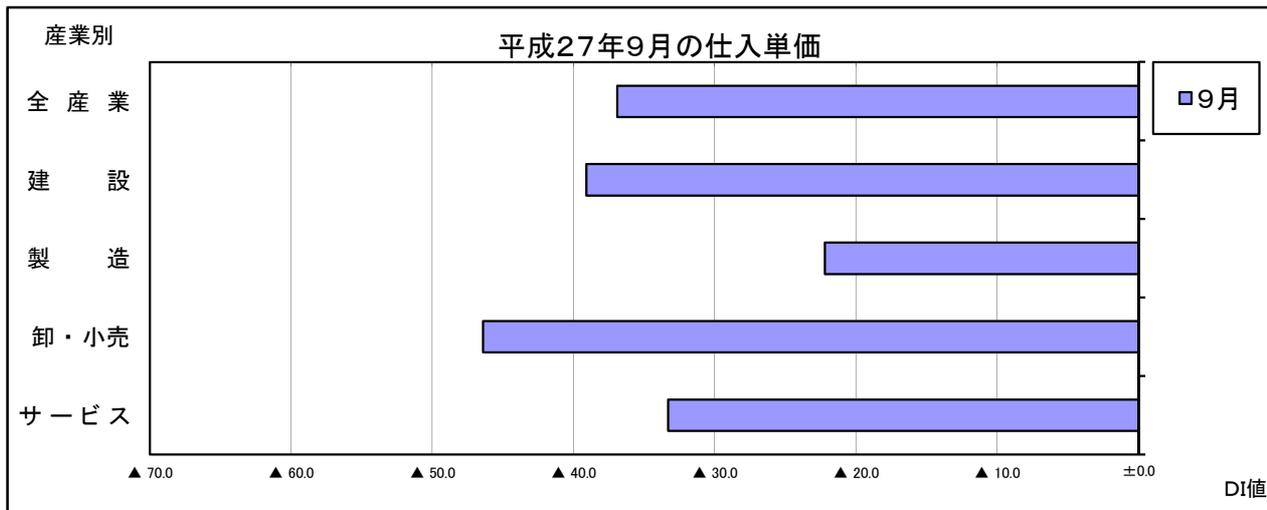
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、サービス業▲33.3(同▲37.5)である。変わらない業種は、卸小売業▲46.4(同▲46.4)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲22.2(同▲11.1)、建設業▲39.1(同▲30.0)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲28.5(前月水準▲28.0)となり、マイナス幅が0.5ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲16.6(同▲22.2)、建設業▲21.7(同▲25.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲42.8(同▲35.7)、サービス業▲26.6(同▲25.0)である。

平成27年9月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	▲43.3	▲36.5	▲47.0	▲38.2	▲32.9	▲36.9	▲28.5(▲28.0)
建設	▲47.8	▲47.8	▲43.4	▲41.6	▲30.0	▲39.1	▲21.7(▲25.0)
製造	▲27.7	▲22.2	▲55.5	▲40.0	▲11.1	▲22.2	▲16.6(▲22.2)
卸・小売	▲48.1	▲41.6	▲42.8	▲39.2	▲46.4	▲46.4	▲42.8(▲35.7)
サービス	▲46.6	▲29.4	▲50.0	▲28.5	▲37.5	▲33.3	▲26.6(▲25.0)



【平成27年9月の従業員についての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△8.3(前月水準△10.9)となり、プラス幅が2.6ポイント縮小した。

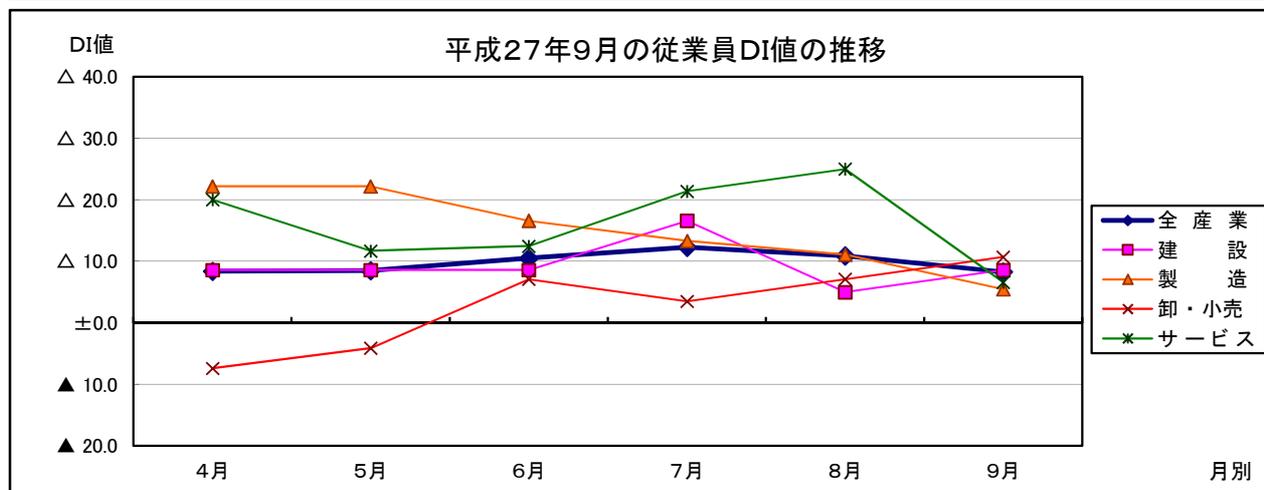
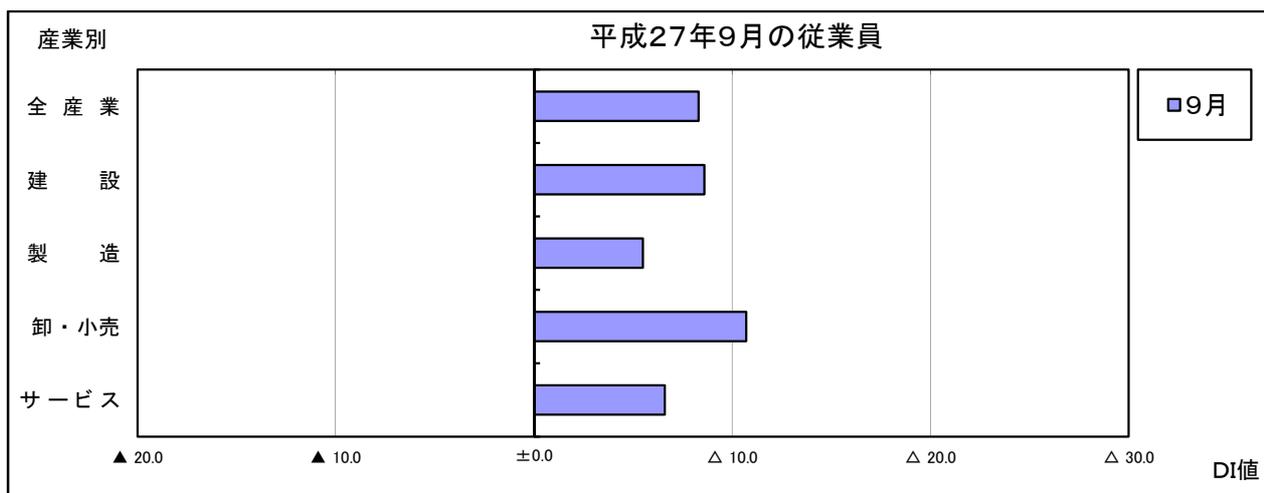
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業△10.7(同△7.1)、建設業△8.6(同△5.0)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業△6.6(同△25.0)、製造業△5.5(同△11.1)である。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、△11.9(前月水準△14.6)であり、プラス幅が2.7ポイント縮小する見通しである。

業種別では、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△11.1(同△5.5)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業△13.0(同△20.0)、サービス業△13.3(同△18.7)、卸小売業△10.7(同△14.2)である。

平成27年9月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	△8.4	△8.5	△10.5	△12.3	△10.9	△8.3	△11.9(△14.6)
建設	△8.6	△8.6	△8.6	△16.6	△5.0	△8.6	△13.0(△20.0)
製造	△22.2	△22.2	△16.6	△13.3	△11.1	△5.5	△11.1(△5.5)
卸・小売	▲7.4	▲4.1	△7.1	△3.5	△7.1	△10.7	△10.7(△14.2)
サービス	△20.0	△11.7	△12.5	△21.4	△25.0	△6.6	△13.3(△18.7)



【平成27年9月の資金繰りについての状況】

○9月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲8.3(前月水準▲9.7)となり、マイナス幅が1.4ポイント縮小した。

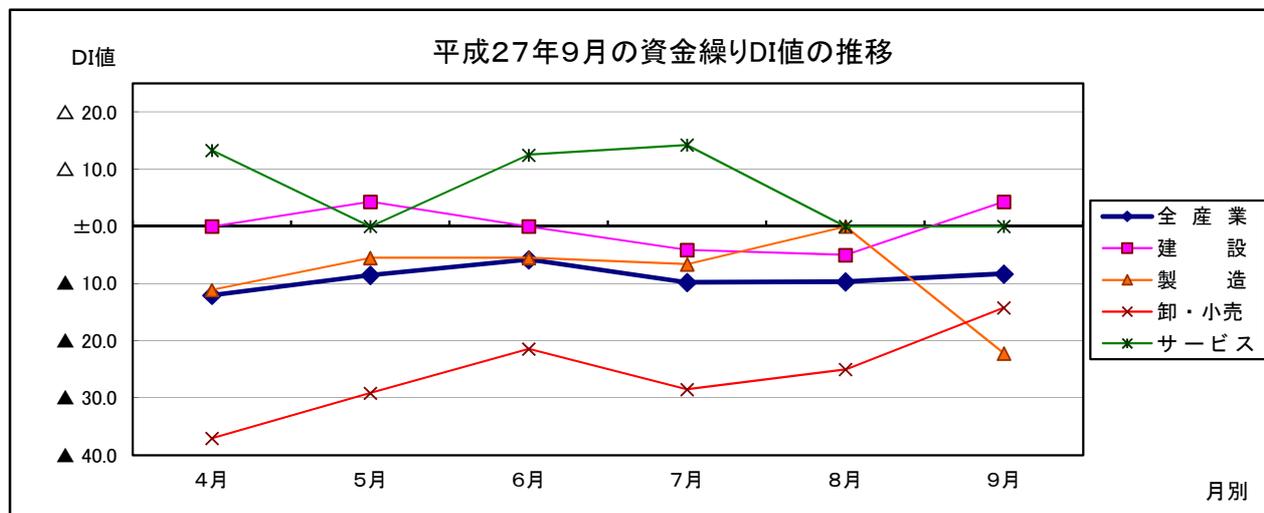
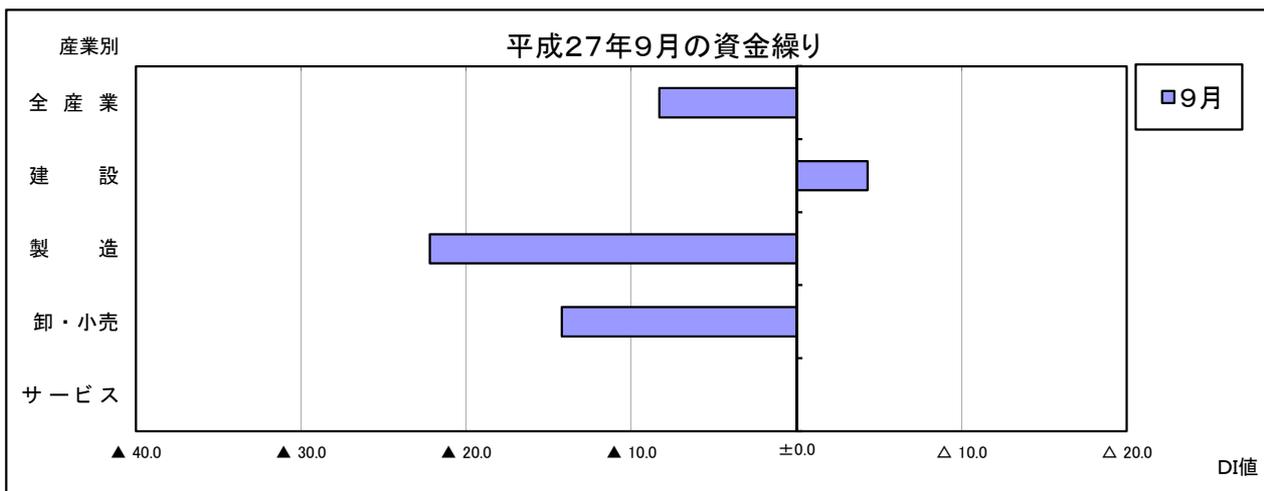
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、建設業△4.3(同▲5.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲14.2(同▲25.0)である。変わらない業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲22.2(同±0.0)であり、22.2ポイントと大幅に悪化した。

○向こう3ヶ月(10月から12月)の先行き見通しについては、全産業では、▲7.1(前月水準▲6.0)となり、マイナス幅が1.1ポイント拡大する見通しである。

業種別では、プラス幅が拡大する見通しの業種は、建設業△4.3(同±0.0)である。変わらない見通しの業種は、卸小売業▲17.8(同▲17.8)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、サービス業±0.0(同△6.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、製造業▲11.1(同▲5.5)である。

平成27年9月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10月~12月(9月~11月)
全産業	▲12.0	▲8.5	▲5.8	▲9.8	▲9.7	▲8.3	▲7.1(▲6.0)
建設	±0.0	△4.3	±0.0	▲4.1	▲5.0	△4.3	△4.3(±0.0)
製造	▲11.1	▲5.5	▲5.5	▲6.6	±0.0	▲22.2	▲11.1(▲5.5)
卸・小売	▲37.0	▲29.1	▲21.4	▲28.5	▲25.0	▲14.2	▲17.8(▲17.8)
サービス	△13.3	±0.0	△12.5	△14.2	±0.0	±0.0	±0.0(△6.2)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 22.6	▲ 4.7	▲ 29.7	▲ 17.8	▲ 36.9	▲ 28.5	△ 8.3	△ 11.9
建設	▲ 4.3	△ 21.7	▲ 34.7	▲ 13.0	▲ 39.1	▲ 21.7	△ 8.6	△ 13.0
製造	▲ 22.2	▲ 16.6	▲ 11.1	▲ 16.6	▲ 22.2	▲ 16.6	△ 5.5	△ 11.1
卸・小売	▲ 39.2	▲ 21.4	▲ 46.4	▲ 28.5	▲ 46.4	▲ 42.8	△ 10.7	△ 10.7
サービス	▲ 20.0	±0.0	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 33.3	▲ 26.6	△ 6.6	△ 13.3

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 20.2	▲ 13.0	▲ 8.3	▲ 7.1
建設	▲ 21.7	▲ 4.3	△ 4.3	△ 4.3
製造	▲ 5.5	▲ 5.5	▲ 22.2	▲ 11.1
卸・小売	▲ 35.7	▲ 25.0	▲ 14.2	▲ 17.8
サービス	▲ 6.6	▲ 13.3	±0.0	±0.0

【平成27年9月の業種別業界内トピックス】

業種別	概 況	キーワード	業種
建設	雨の日が多く、外回りの仕事も捗りません。そのため、工期が延び売上も低迷。	天候不順 工期の遅延 売上低迷	一般土木建築工事業
	省エネ関連の工事が多い。仕入単価と共に、経費の上昇で利益は薄い。	省エネ関連工事 仕入単価上昇 利幅減少	電気工事業
	長雨の影響で工程が大きくずれてしまった。半期決算の影響で忙しかったが、10月は全く仕事が無い状況。	天候不順 工期の遅延	石工れんがタイルブロック工事業
	雨の影響で工程がずれ、9月決算も重なり、段取りが大変な忙しい月となった。しかし、施工出来る日が少なく売上は減少となった。原材料がやっと上げ止まりとなったものの、受注競争が激化し、施工単価も下がり、厳しい状況となっている。	天候不順 売上減 受注競争激化 施工単価下落	その他の職別工事業
	孫の為にと祖父母世代が量工事をしているケースが増えているので微笑ましいですが、工事の受注が年々減少しているのが気がかりです。年末に掛けて受注が増えることを期待しています。	受注減	内装工事業
製造業	設備投資が減少というニュースのわりには受注は堅調。波は少し遅れてくるのか。社内工場の人手不足と加工協力会社の工数オーバーは相変わらず。	設備投資 受注堅調 人手不足 工数オーバー(協力会社)	その他の機械・同部品製造業
	現況の経済発展をどの様に考えるか、次世代のあり方が問われるところにきている。不自由の中から生まれてくる発想は力強いものがある。己の中にヒントはある。		印刷業
	高齢化が依然として進む中、若年層の採用を考えているが、受注量の改善が見られないので、積極的な採用活動が出来ない状況である。	高齢化 受注低迷(改善されず) 若年層の採用	一般産業用機械・装置製造業
	衣料品は前半、天候不順及び近隣での豪雨影響もあり苦戦。特に紳士衣料の落ち込みが大きい。中旬以降、シルバーウィークは好調に推移し、気温の低下もあり、秋物の動きが活発になる。時計などの高額品は、前月に引き続き好調を維持。	天候不順 紳士衣料 シルバーウィーク 気温低下 秋物衣料	百貨店
	天候不順のため、客足が伸びず、9月はシルバーウィークもあり課題を残します。	天候不順 客数減 シルバーウィーク	時計・眼鏡・光学機械小売業

【平成27年9月の業種別業界内トピックス】

卸小売	今回のプレミアム商品券のイベントで、どの業種の売上が増減して、どの業種が良くなかったのか知りたい。食品小売業の立場であると、雨の影響もあるが、あまり売上に貢献したとは思えない。	プレミアム商品券 天候不順	各種食料品小売業
	9月上旬の天候不良により、前年よりも売上が減少。原材料の値上げが相次ぐ。	天候不順 売上減 原材料値上げ(コスト増)	菓子・パン小売業
	9月の大型連休が過ぎましたが、青果物は、消費予想と違って低迷しているとの情報。連休中の天候は良かったものの、消費意欲が停滞傾向にあったようです。また、主力産地では、気温低下の影響が続き、現在は、品質自体は良くなっているとの情報がありますが、一部商品では出荷減単価高で推移しています。今後、秋の行楽シーズンを迎えて、消費動向を確認しながら、安定供給を図るため、集荷販売を進めていきます。	シルバーウィーク 消費意欲の低下 気温低下 秋の行楽シーズン	食料・飲料卸売業
	秋物の出足は好調であったが、天候不順が響き客数減少となり、結果、昨年対比でマイナスとなった。小売・メーカーともに秋物はスルーする傾向がますます強く、下旬には納品商品は早くも冬物に変わった。	秋物衣料 天候不順 客数減	婦人・子供服小売業
	雨の日が多く、客足が減少した。逆にネット販売では売上が増加。	天候不順 客数減 ネット販売売上増	その他の各種商品小売業
	暑さが長続きしなかった分、秋物に期待したが、様子見なのか全体では残暑ほどの数字にはならなかった。一時期の高品質・高価格から低価格へ戻りつつある。	秋物衣料 低価格商品への移行	その他の各種商品小売業
	長雨で客足伸びず。シルバーウィークで少し挽回した。	天候不順 シルバーウィーク	菓子・パン小売業
サービス	海外の取引先、関係先を国内に呼び寄せる案件が増えてきている。社員人材育成プログラムや福利厚生プログラムへの興味関心を示す企業が増えている。	国内案件増加(社員育成プログラム等)	旅行業
	お客様の買い物意欲は緩やかですが根強いです。金融が緩んでおののでしょうか、仕入価額が徐々に上昇しています。	消費意欲堅調 仕入単価上昇	不動産管理業
	今回、長期借入の償還期間が一部終了しました。また、今後1年以内に償還終了予定の借入があります。資金繰りに余裕が出たら、老朽化した設備の更新等に再投資予定です。	長期借入金 資金繰り 設備投資	不動産賃貸・管理業
	景況は不変状況が続いている。人員不足が続き、腰を据えた検討が出来ず、結果、目先の対応となってしまい、目的にブレが生じている。	景況不変 人手不足	ソフトウェア業

## ◎天候不順

長雨の影響で工程が大きくずれてしまった。半期決算の影響で忙しかったが、10月は全く仕事が無い状況。

石工れんがタイルブロック工事業

長雨で客足伸びず。シルバーウィークで少し挽回した。

菓子・パン小売業

## ◎仕入単価上昇

省エネ関連の工事が多い。仕入単価と共に、経費の上昇で利益は薄い。

電気工事業

9月上旬の天候不良により、前年よりも売上が減少。原材料の値上げが相次ぐ。

菓子・パン小売業

## ◎人手不足

設備投資が減少というニュースのわりには受注は堅調。波は少し遅れてくるのか。社内工場の人手不足と加工協力会社の工数オーバーは相変わらず。

その他の機械・同部品製造

景況は不変状況が続いている。人員不足が続き、腰を据えた検討が出来ず、結果、目先の対応となってしまう、目的にブレが生じている。

ソフトウェア業

## 平成27年9月CCI - LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲20.2に対し、「CCI-LOBO」が▲17.3で柏の方がマイナス幅が2.9ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、サービス業であり、製造業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、卸小売業であり、卸小売業では10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲22.6に対し、「CCI-LOBO」が▲12.1で柏の方がマイナス幅が10.5ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業であり、10ポイント以上良い。柏の景気の方が悪い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、卸小売業、サービス業では10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲29.7に対し、「CCI-LOBO」が▲17.3で柏の方がマイナス幅が12.4ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、サービス業である。柏の景気の方が悪い業種は、建設業、卸小売業であり、それぞれ10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」の方が▲36.9に対し、「CCI-LOBO」が▲39.5で柏の方がマイナス幅が2.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、製造業、サービス業であり、製造業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業である。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△8.3に対し、「CCI-LOBO」が△15.7で柏の方がプラス幅が7.4ポイント小さい。業種別では、全ての業種で「柏の景気」の方が悪く、建設業、サービス業では10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲8.3に対し、「CCI-LOBO」が▲12.8で柏の方がマイナス幅が4.5ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、卸小売業、サービス業であり、建設業、サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業である。

# 平成27年9月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI $\geq$ 50	好調 50>DI $\geq$ 25	まあまあ 25>DI $\geq$ 0	不振 0>DI $\geq$ ▲25	極めて不振 ▲25>DI

業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 20.2	 ▲ 21.7	 ▲ 5.5	 ▲ 35.7	 ▲ 6.6
CCI-LOBO	 ▲ 17.3	 ▲ 17.3	 ▲ 16.1	 ▲ 24.8	 ▲ 8.7

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 22.6	 ▲ 4.3	 ▲ 22.2	 ▲ 39.2	 ▲ 20.0
CCI-LOBO	 ▲ 12.1	 ▲ 16.4	 ▲ 12.6	 ▲ 19.2	 ▲ 2.9

採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 29.7	 ▲ 34.7	 ▲ 11.1	 ▲ 46.4	 ▲ 13.3
CCI-LOBO	 ▲ 17.3	 ▲ 14.7	 ▲ 18.4	 ▲ 23.6	 ▲ 14.8

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 36.9	 ▲ 39.1	 ▲ 22.2	 ▲ 46.4	 ▲ 33.3
CCI-LOBO	 ▲ 39.5	 ▲ 42.0	 ▲ 33.6	 ▲ 43.5	 ▲ 37.0

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 △ 8.3	 △ 8.6	 △ 5.5	 △ 10.7	 △ 6.6
CCI-LOBO	 △ 15.7	 △ 20.3	 △ 8.6	 △ 18.9	 △ 21.2

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 8.3	 △ 4.3	 ▲ 22.2	 ▲ 14.2	 ±0.0
CCI-LOBO	 ▲ 12.8	 ▲ 9.1	 ▲ 15.1	 ▲ 16.8	 ▲ 10.8

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

# CCI - LOBO

## 商工会議所早期景気観測 (9月速報)

調査期間：平成27年9月11日～17日

調査対象：全国の422商工会議所が2985企業にヒアリング調査を実施

### 全国の業況

業況DIは、一進一退。先行きも慎重な見方続き、幅広い圏内の動き

9月の全産業合計の業況DIは、▲17.3と、前月から▲2.4ポイントの悪化。ただし、「好転」から「不変」への変化も押し下げ要因となったことに留意が必要。好調な観光関連の牽引が続く中、住宅投資に加え、公共工事にも持ち直しの動きがみられる。他方、価格転嫁の遅れや人手不足、人件費の上昇が足かせとなる状況に変わりはなく、台風や大雨など天候不順の影響もあって、中小企業の景況感には地域・業種などによってばらつき、一進一退の動きが続く。

先行きについては、先行き見通しDIが▲16.5（今月比+0.8ポイント）と幅広い圏内の動き。観光需要の拡大や住宅・設備投資の回復、公共工事の持ち直しなどへの期待が伺える一方、家計負担の増大が消費者マインドを下押しする中、消費低迷の長期化を懸念する声も聞かれる。加えて、コスト増加分の価格転嫁や人手不足などへの対応が遅れる企業では、先行きに対して慎重な見

方が続く。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「従業員のモチベーションを高めるため、賃上げを実施。受注が安定すれば、新規採用等も考えたい」（一般工事業）、「人手不足により受注を見送るケースもあるが、公共工事の発注が始め、施工単価の見直しも進んでいるため、先行きを期待したい」（建築工事業）、「主力である通信設備関連の受注が低調なため、ビル内の配線など電気工事の取扱いを開始し、売上回復を図っている」（電気通信工事業）

【製造業】「シルバーウィークにおける観光客の大幅増により、今月の売上は前年を大きく上回る見込み」（和菓子製造・販売業）、「北米向けなど、取引先の自動車部品の生産が堅調。自社の受注も安定しているため、老朽化した工場の移転・新設を計画中」（金属熱処理業）、「受注量は概ね例年並みを確保したが、納期が短く、取引先からのコストダウン要請も強まっており、採算は厳しい」（自動車部品製造業）

【卸売業】「海外の需要の鈍さを反映し、鉄スクラップの価格が急落。取引先のメーカーへの販売価格も大幅に下がり、採算が悪化している」（再生資源卸売業）、「飲食・宿泊業などへの営業強化により売上が大幅に伸びている。従業員に報いるため、期末賞与の支給を検討している」（食料品卸売業）、「新卒を採用したいが、昨年に比べ、自社への応募が減少。また、選考に進んだ学生が辞退するなど、いまだ採用に結びついていない」（機械工具等卸売業）

【小売業】「台風や豪雨の影響もあって、来店客数・売上ともに前年割れとなった」（百貨店）、「地元における外国人観光客の数はそれほど多くはないが、1人で30万円分購入する観光客もおり、今後、集客策を検討したい」（化粧品販売店）、「気温の低下や天候不順が続いたことから、夏物衣料が売れ残った。他方で、秋物商品を早く投入した店舗では客足が伸びた」（商店街）

【サービス業】「軽油価格下落の恩恵はあるが、天候不順の影響により青果物の取引が少なかったことから、稼働率

が低く、売上は伸び悩んだ」（運送業）、「ランチタイムは、お得なワンコインメニューの投入により客数が伸びたものの、デイナータイムは苦戦が続いている」（飲食店）、「インバウンド需要の獲得のみならず、2020年のオリンピックを見据え、施設の大規模リニューアルを行う予定」（旅館業）

### 全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
4月	▲15.3	▲10.1	▲15.6	▲20.5	▲18.1	▲13.2
5月	▲13.5	▲13.4	▲15.1	▲17.3	▲13.6	▲10.0
6月	▲15.3	▲15.1	▲12.6	▲20.6	▲19.8	▲11.6
7月	▲20.0	▲23.1	▲17.9	▲23.7	▲24.4	▲13.9
8月	▲14.9	▲19.1	▲13.0	▲15.5	▲23.0	▲6.5
9月	▲17.3	▲17.3	▲16.1	▲24.0	▲24.8	▲8.7
見通し	▲16.5	▲14.4	▲14.0	▲19.3	▲26.9	▲9.8